

バラエティ番組

市川浩

凡そ今の世、公務員、教員、將た又會社員等の社會人は一般に早朝より夕刻遅くまで職場を離るゝ事少ければ、この間の電視畫面に接する事亦殆ど少かりけり。然るに昨年新型コロナウイルス対策として、職場と自宅を電腦を以て繋ぐ新たなる勤務形式「遠勤」廣範圍に發現す。テレワーク家庭にて電網作業一通り終ふれば、晝の自由時間、電視バラエティ番組を娛しむも亦一興なるべし。但し此のバラエティの語元來は歌舞音曲を抜き混ぜて觀客を愉しませるを宗とし、特に大臣、大金持等を洒落のめすに心を砕くものなり。曾てソ聯邦隆盛の頃、イワンの奴、スターリンは馬鹿なりと言うて逮捕せらるゝ。洵に最近の言論統制は強し。きつそれが何故か逮捕容疑は國家機密の漏洩とぞ。など中々やりをりと感じたるを思ひ出せり。電視番組としてのバラエティも昭和六十年代の草創期、呆けと突つ込みの漫才形式主體より次第に脱皮し、此の頃は主題の専門家等をも招きて迫眞性を誇せむとする傾向強し。最近の實例として、新型コロナウイルス対策として發出二度の緊急事態宣言を想起するに、結果的には孰れのバラエティも其の直前には電視媒體を擧げて早期發出を求めたる末、發出に至りたる印象あり。然れば直後の輿論調査にては、最初の發出には%が遅きに失したりとし、70次の發出には内閣支持率%臺への急低下を示せり。30この結果を如何に觀ずるか、一に曰く、世の知識人免角バラエティの畫一性批判を言ふも、電視には視聽率なる絶對的判斷材料あり。この數字の示す所にこそ庶民の偽はらざる感情の表はるゝものなれど。又二に曰く、バラエティは本來支配者への抗議を庶民に判り易く傳ふるを以て使命とすとて、其の表現に過激なるありと雖も、此も演出上の工夫と觀ずれば、別に問題も無からむとす。洵に正論と思しきも、遠勤にて此らを初めて視聽する一般勤勞社會人は具體的詳細數値の不明、バラエティ司會者に対する反論の缺如など、所謂本格討論には非ざるを踏ふべし。其の意味にて一例を擧ぐるに、GotoTravelあり。其の功罪に就き論議白熱するも、結局態々エビデンス不十分とて尻切る。然れど國が旅行費用を援助する以上、少くとも利用者の性別、證據年齢、住所、旅行集團の規模や行先等、基本情報の把握は當然なれば、後日新型コロナウイルス發症者の追跡は極めて正確に行はるべし。然るにバラエティはGotoTravel中止一點張りにて、今日では移動そのものが感染機會を増幅すと強調せらる。果して然るか。利用者は旅行による感染防止に特別の配慮、少くとも通常旅行より「氣を遣ひ」たるに非ずや。此の氣遣ひ感染に對する有意の効果ありとせば、我々は大いなる知見を共有する事とならまし。我國の感染低水準は世界的にも評價せらるゝに、發熱等發症の訴へに對し、然るべき病牀への誘導に手間取る間、症状悪化し、最悪不治となりつる例等、戦後の復興七十年の間、幸ひに大いなる災厄を免れ、免角國家有事への備へ不十分に打過ぎたるに

非ずや。バラエティは大いに楽しむべし。他方國家戦略は國民擧げての工夫、検討を要す。

(令和三年二月二十三日受附)